

平成27年度決算に係る

定期監査

調書

決算審査

平成28年7月

病院局総務課

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
(1)	指摘事項	1 頁
(2)	監査意見	1 頁
(3)	審査意見	1 頁
(4)	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況	2 頁
2	組織及び業務調べ	3 頁
3	職員の状況	
(1)	定員、現員調べ	3 頁
(2)	役付職員の調べ	3 頁
4	主な事業に関する調べ	4 頁
5	経営等の状況	
(1)	施設規模、業務状況等	5 頁
ア	施設規模、業務状況	5 頁
イ	入院・外来者実績	5 頁
(2)	経営分析等(総務課に係る経費等の振替後の数値があるものは()別書きすること。)	
ア	医業収益100円当たり要素別費用等	5 頁
イ	診療科別医師1人1日当たり患者数	5 頁
ウ	患者1人1日当たり収益費用	5 頁
エ	手術、調剤等	5 頁
オ	医業収益の月別調定、返戻、減点等	5 頁
カ	職種別給与調べ	5 頁
(3)	一般会計からの繰入金の状況	5 頁
(4)	債務負担行為の状況	5 頁
(5)	工事請負費調べ	5 頁
(6)	委託料、諸会費支出状況	
ア	委託料	6 頁
イ	諸会費	7 頁
(7)	その他の収入支出の状況	7 頁
ア	その他医業収益	7 頁
イ	その他医業外収益	7 頁
ウ	特別利益	7 頁
エ	雑損失	7 頁
オ	不納欠損処分	7 頁
カ	特別損失	7 頁
キ	未収金	7 頁
ク	医業未収金(患者自己負担分)の発生防止及び回収促進のための取組状況	7 頁
(8)	土地、建物の貸付け及び使用許可状況	8 頁
(9)	借受不動産の状況	8 頁
(10)	職員住宅及び職員駐車場の管理状況	8 頁
(11)	除却資産	8 頁
(12)	寄附物件の受納状況	8 頁
(13)	不用品等の処分状況	8 頁

(14) 金券類の受払状況	8 頁
(15) 固定資産、現金、有価証券、物品の滅失等の状況	8 頁
(16) 自動車の管理状況	8 頁
(17) 貯蔵品の購入払出の状況	8 頁
6 予算決算対比表	
(1) 収益的収入及び支出	9 頁
(2) 資本的収入及び支出	10 頁
7 資金収支の状況	
(1) 資金収支表	11 頁
(2) 累積資金推移表	11 頁
8 意見、要望等	12 頁
9 決算調書	
10 決算報告書関係説明資料(比較損益計算書、患者数に関する調べ、比較貸借対照表、固定資産年度中増減明細書、貯蔵品内訳明細書、未収未払勘定明細表、減価償却年度中増減明細表、留保資金等調書、企業債償還年次表、資本剰余金・長期前受金の状況調べ、引当金等に関する調べ、控除対象外消費税に関する調べ、たな卸資産に係る時価評価及び低価法の適用に関する調べ、減損会計に関する調べ、リース資産に関する調べ、経営分析に関する調べ、医業未収金(患者自己負担分)高額滞納者の状況)	
11 その他参考資料(未払金調書)	

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

(3) 決算審査意見

決 算 審 査 意 見	処 理 状 況 等
<p><経営健全化への取組みについて></p> <p>両病院の経営については、地域医療構想を踏まえた病院機能の見直しや経営改革についての経営戦略の策定を行う「新たな県立病院改革プラン」の策定が予定されているところである。</p> <p>については、両病院とも、第Ⅱ期改革プランの最終年度に当たり、経営指標等の目標の達成に向けた取組みを進めるとともに、県立病院として求められる役割を果たしつつ、経営健全化に引き続き取り組まれない。</p>	<p>第Ⅱ期改革プランの期間中（平成23～27年度）においては、医薬品及び診療材料の一括調達や後発医薬品の使用促進等による費用削減、医療機能の強化（H25：救命救急センター整備（中央病院）、H24：高度な放射線治療装置整備（厚生病院））等による診療単価の増など、県立病院の経営健全化に向けた取組を行ったところである。</p> <p>平成27年度決算においては、両病院とも経常収支比率は改革プランにおける目標を達成し、経常損益ベースで黒字を計上している。</p> <p>なお、平成26年度から地方公営企業会計基準の見直しにより、退職給付引当金や賞与引当金等、各種引当金計上義務化され、特に費用が多額となる退職給付引当金については、平成30年度までの5年間に分割して特別損失に計上することとしており、このことが純損益ベースでの収支に影響を及ぼしているが、病院事業としては引き続き黒字を計上している。</p> <p>いずれにしても、今後も経営健全化に取り組みつつ、がんや脳卒中、急性心筋梗塞等の高度医療や救急医療、周産期医療など、県立病院として求められる役割を果たしていく。</p>
<p><医療従事者の確保対策について></p> <p>両病院とも薬剤師の必要人数が確保できていない状況が続いており、募集を実施しても志望者が少ない状況である。</p> <p>また、育児等のために勤務時間に制限のある職員に配慮しつつ看護師の勤務体制を組んでいるが、厚生病院においては体制確保に苦慮している状況である。</p> <p>については、医療従事者が十分に確保できていない状況について、関係部局・機関等との連携を一層密にし、引き続き改善の取組みを進められたい。</p>	<p>薬剤師については、平成27年度に創設された奨学金返還助成制度の対象とされたことから、その制度概要等を就職説明会や病院実習等参加者のうち希望する薬学生及びその保護者へ直接送付している。</p> <p>また、例年秋頃に実施していた新卒者を主な対象とした採用試験を平成28年度は8月上旬に早め、受験者及び優秀な人材の確保につなげていく。更に免許取得者については、随時募集ができるように人事委員会規則の承認を得た。</p> <p>看護師については、県内外の看護学校や高校・大学を訪問するほか、鳥取県ナースセンター主催の看護師進学就職ガイダンスに参加し、職員確保に努めている。更に、夜勤体制の確保及び多様な勤務形態への対応を図るため、平成28年度から希望者について夜勤専従勤務ができる体制を加えた。</p>

<p><未収金対策（患者自己負担分）について></p> <p>両病院とも未収金全体を抑制するため、休日等にも医療費計算を行うなど未収金の発生を防ぐ取組みを進めている。</p> <p>昨年度からは両病院とも診療費債権管理事務取扱要領を改定し、未収債権の分類を行い効率的な回収を図り、中央病院においては担当職員を増員し、対応を強化している。</p> <p>これらの取組みにより過年度未収金は減少しているものの、依然として多額の未収金がある状況となっているため、改正した診療費債権管理事務取扱要領や債権分類に基づいて、未納者の状況把握や対応を適切に行い、引き続き効率的、効果的な回収に努められたい。</p>	<p>従来から行っている弁護士への回収委託や民事訴訟法に基づく支払督促などに加えて、平成26年度から夜間休日の医療費計算の時間帯を拡大したほか、債権分類基準を作成して臨戸徴収に力を入れる等、取組を強化しているところである。</p> <p>また、平成28年1月には、両病院の担当者会を開催して情報やノウハウの共有化を図る取組みを開始した。</p> <p>平成28年度からは、平日に連絡のつかない未納者に対して休日に電話連絡をする体制を整える等、更に取組を強化している。</p> <p>今後も、定期的に情報交換・業務内容の評価・見直しの場を設ける等、未収金の一層の削減に取り組んでいく。</p>
--	---

(4) 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
<p><施設の見直しについて>（文書指摘）</p> <p>厚生病院は、昭和61年に増改築して以来、約30年を経過しようとしているが、当時想定していなかった化学療法を受ける外来患者の増加や院内保育の実施などの対応が生じている。</p> <p>化学療法については空きスペースを利用して場所を確保しているが、狭隘なスペースで多くの患者へ対応する必要があり、患者にも医療スタッフにも負担となっている。</p> <p>また、院内保育室についても定員25名に対し、現状で預けられている人数14名でも手狭の感をぬぐえない上に、外来診察室近くに設置されていることからインフルエンザなどの流行時には乳幼児への感染も心配される。</p> <p>については、早急にこのような状況を解消するため、現在のニーズに応じた院内の配置の検討や、必要な施設の増設などの対策を検討する必要がある。【厚生病院】</p>	<p>外来化学療法室は、急変時に直ちに医師が対応できる場所になければならないため、救急エリアに隣接した現在の場所が最適と考えるが、拡張スペースがないのも事実である。このため、患者様の意向も聞きながら治療の時間帯を見直すとともにベッド数を減らして1床あたりの面積を拡張し、患者数の確保と狭隘感の緩和を図ることとして調整を進めている。</p> <p>院内保育所については、利用者は定員の半分程度で近年大きな変動はなく、今後も同様の傾向が続く見込みであることに加え、利用する職員の出勤や授乳等の際の利便性が高く、職員からも今の場所での存続意見が数多く出されている。このため、屋外活動を増やすことなどにより、できる限り狭隘感を感じさせないように工夫していく。</p> <p>また、感染対策については、感染症流行時の入退室や外出時に患者の動線と重ならないよう、スタッフ専用の動線を活用するなど配慮していく。</p> <p>いずれにしても、経営に及ぼす影響等を考慮しながら、中長期的な施設のあり方について検討していく。</p>
<p><県立病院における未収金対策について>（口頭指摘）</p> <p>既に発生した未収金に対しては様々な努力が行われ、両病院とも未収金額が減少し、成果が見られているところであるが、依然として多額の未収金が残る状況に変わりはない。</p> <p>現在の取組みを進めながらも内容を随時評価し、実状に応じて柔軟に見直し、成果のあった事例やノウハウは両病院で共有する機会を設定するなど、未収金の減少に向けて更に取り組む必要がある。</p>	<p>従来から行っている弁護士への回収委託や民事訴訟法に基づく支払督促などに加えて、平成26年度から夜間休日の医療費計算の時間帯を拡大したほか、債権分類基準を作成して臨戸徴収に力を入れる等、取組を強化しているところである。</p> <p>また、平成28年1月には、両病院の担当者会を開催して情報やノウハウの共有化を図る取組みを開始した。</p> <p>平成28年度からは、平日に連絡のつかない未納者に対して休日に電話連絡をする体制を整える等、更に取組を強化している。</p> <p>今後も、定期的に情報交換・業務内容の評価・見直しの場を設ける等、未収金の一層の削減に取り組んでいく。</p>

2 組織及び業務調べ

局（室）名	科（センター、室、部、課）名	科の主な所掌事務
病院局	総務課	局職員の人事及び労務に関すること 局の予算、決算及び会計に関すること 局の事務の総合調整に関すること

3 職員の状況

(1) 定員、現員調べ

(平成28年4月1日現在)

職 種	定 員	現 員	過不足 (△)	27.4.1現在		増 減		備 考
				定 員	現 員	定 員	現 員	
事務員	7 (1)	7 (1)	0	7 (1)	7 (1)	0	0	非常勤職員（事務）
文化財主事	5	3	△2	0	0	5	3	埋蔵文化財センター 秋里分室に駐在

() は非常勤職員外数。上段 () は育休職員数。

(2) 役付職員の調べ

(平成28年7月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
病院事業管理者	渡部 哲哉	2	6	
病院局長兼総務課長	細川 淳		3	企業出納員
課長補佐	松本 秀樹	3	3	企業出納員

4 主な事業に関する調べ

事業名	概	要																																																																													
職員採用試験について 決算額 — 千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 両病院において必要な人材を確保する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 次のとおり、適時に職員採用試験を実施した。</p>																																																																														
	<p>【看護師採用試験】 7回実施 (単位：人)</p>																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>試験日</th> <th>採用予定者数</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8/1</td> <td rowspan="2">60名程度</td> <td>68</td> <td rowspan="2">66</td> <td>鳥取会場</td> </tr> <tr> <td>8/23</td> <td>4</td> <td>大阪会場</td> </tr> <tr> <td>1/31</td> <td>35名程度</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>追加募集</td> </tr> <tr> <td>4/23</td> <td rowspan="4">—</td> <td>1</td> <td>1</td> <td rowspan="4">随時試験</td> </tr> <tr> <td>5/28</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>10/27</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3/8</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>82</td> <td>72</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	試験日	採用予定者数	受験者数	合格者数	備考	8/1	60名程度	68	66	鳥取会場	8/23	4	大阪会場	1/31	35名程度	4	1	追加募集	4/23	—	1	1	随時試験	5/28	3	3	10/27	1	0	3/8	1	1	計		82	72																																										
試験日	採用予定者数	受験者数	合格者数	備考																																																																											
8/1	60名程度	68	66	鳥取会場																																																																											
8/23		4		大阪会場																																																																											
1/31	35名程度	4	1	追加募集																																																																											
4/23	—	1	1	随時試験																																																																											
5/28		3	3																																																																												
10/27		1	0																																																																												
3/8		1	1																																																																												
計		82	72																																																																												
	<p>【医療技術職採用試験】 3回実施 (単位：人)</p>																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>試験日</th> <th>職種</th> <th>採用予定者数</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">6/6</td> <td>薬剤師</td> <td>10名程度</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>1名程度</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>1名程度</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>1名程度</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>医療ソーシャルワーカー</td> <td>1名程度</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">10/3</td> <td>薬剤師</td> <td>9名程度</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>1名程度</td> <td>8</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>1名程度</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>1名程度</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>1名程度</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>1名程度</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>1名程度</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>医療ソーシャルワーカー</td> <td>1名程度</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1/31</td> <td>薬剤師</td> <td>7名程度</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>1名程度</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>1名程度</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>59</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>	試験日	職種	採用予定者数	受験者数	合格者数	6/6	薬剤師	10名程度	2	1	診療放射線技師	1名程度	3	1	臨床検査技師	1名程度	4	0	作業療法士	1名程度	0	—	医療ソーシャルワーカー	1名程度	4	0	10/3	薬剤師	9名程度	2	2	臨床検査技師	1名程度	8	1	診療放射線技師	1名程度	6	1	理学療法士	1名程度	7	2	言語聴覚士	1名程度	6	2	作業療法士	1名程度	5	1	臨床工学技士	1名程度	4	2	医療ソーシャルワーカー	1名程度	5	1	1/31	薬剤師	7名程度	0	—	診療放射線技師	1名程度	1	0	作業療法士	1名程度	2	0	計			59	14	
試験日	職種	採用予定者数	受験者数	合格者数																																																																											
6/6	薬剤師	10名程度	2	1																																																																											
	診療放射線技師	1名程度	3	1																																																																											
	臨床検査技師	1名程度	4	0																																																																											
	作業療法士	1名程度	0	—																																																																											
	医療ソーシャルワーカー	1名程度	4	0																																																																											
10/3	薬剤師	9名程度	2	2																																																																											
	臨床検査技師	1名程度	8	1																																																																											
	診療放射線技師	1名程度	6	1																																																																											
	理学療法士	1名程度	7	2																																																																											
	言語聴覚士	1名程度	6	2																																																																											
	作業療法士	1名程度	5	1																																																																											
	臨床工学技士	1名程度	4	2																																																																											
	医療ソーシャルワーカー	1名程度	5	1																																																																											
1/31	薬剤師	7名程度	0	—																																																																											
	診療放射線技師	1名程度	1	0																																																																											
	作業療法士	1名程度	2	0																																																																											
計			59	14																																																																											
	<p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特に人材が不足している薬剤師確保対策として、平成27年度に創設された奨学金返還助成制度の対象とされたことから、就職説明会での説明や希望者への資料直接送付などにより制度の周知を図り、県立病院への就職をPRした。</p>																																																																														
	<p>ウ 成果</p> <p>(ア) 看護師 看護師確保に努め、夜勤体制の充実など医療安全の向上を図ることができた。</p> <p>(イ) 医療技術職 薬剤師を除き、必要な人材を概ね確保できた。</p>																																																																														
	<p>エ 課題 優秀な人材を必要数確保できるよう、受験者を集める努力を継続して行う。</p>																																																																														

5 経営等の状況

(1) 施設規模、業務状況等

該当なし

(2) 経営分析等

該当なし

(3) 一般会計からの繰入金の状況

該当なし

(4) 債務負担行為の状況

該当なし

(5) 工事請負費調べ

該当なし

(6) 委託料、諸会費支出状況
ア 委託料

(単位：円)

予算科目 (目)	国補単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更契約(最終)			履行検査 年月日					
委託料 (経費)	単県	顧問弁護士委 託	神戸海都法律 事務所	2,592,000	(H27.4.1) 2,592,000	H27.4.1 ~ H28.3.31	H27.3.23 (免除)	H28.3.31	精	H27.5.21 他	2,592,000	・医師資格を 持つ弁護士で あり、比較的 近距離に事務 所があり、随 時の相談に対 応できるた め。
							随	H28.3.31				
委託料 (経費)	単県	平成27年度 公務能率評 定、自己申 告、執務姿勢 診断及び出 退勤管理シ ステム運用 管理業務委 託	㈱鳥取県情報 センター	1,030,752	(H27.4.1) 1,030,752	H27.4.1 ~ H28.3.31	H27.3.23 (免除)	H28.3.31	精	H28.4.8	1,030,752	・鳥取県職員 イントラネッ トと連携させ る必要がある ため。
							随	H28.4.1				
委託料 (経費)	単県	平成27年度 給与計算事 務委託	㈱鳥取県情報 センター	2,206,116	(H27.4.1) 2,206,116	H27.4.1 ~ H28.3.31	H27.3.23 (免除)	H28.3.31	精	H28.4.8	2,206,116	・一般会計の 給与計算事 務を行って おり、給与計 算業務に精 通している ため。
							随	H28.4.5				
委託料 (経費)	単県	平成27年度 新財務会計 システム保 守委託	㈱BSNアイ ネット	1,166,400	(H27.4.1) 1,166,400	H27.4.1 ~ H28.3.31	H27.3.27 (免除)	H28.3.31	精	H27.5.21 他	1,166,400	・システム開 発者である ため。
							随	H28.4.8				
予定価格が 20万円未 満のもの											453,368	
目計											7,448,636	
合計											7,448,636	

イ 諸 会 費

(単位：円)

名 称	支 出 金 額	内消費税額	支 出 先	備 考
新規以外のもの	284,000	0		
合 計	284,000	0		

(7) その他の収入支出の状況

ア その他医業収益

該当なし

イ その他医業外収益

(単位：円)

収 入 区 分	収 入 金 額	内消費税額	収 入 先	備 考
その他医業外収益	23,493,509	0		
退職給付費（他会計負担分）	23,493,509	0	鳥取県	退職給付費一般会計負担分
合 計	23,493,509	0		

ウ 特別利益

該当なし

エ 雑損失

(単位：円)

支 出 区 分	支 出 金 額	内消費税額	支 出 先	備 考
その他雑損失	23,493,509	0	職員	退職給付費一般会計負担分
合 計	23,493,509	0		

オ 不納欠損処分

該当なし

カ 特別損失

(単位：円)

支 出 区 分	支 出 金 額	内消費税額	支 出 先	備 考
退職給付費	23,698,000	0	—	引当金
小計（その他特別損失）	23,698,000	0		
合 計	23,698,000	0		

キ 未収金

該当なし

ク 医業未収金（患者自己負担分）の発生防止及び回収促進のための取組状況

(ア) 債権管理事務取扱要領の作成（改正）… 平成27年度は改正なし

(イ) 債権分類の整理

該当なし

(ウ) 発生防止及び回収促進の取組み

平成28年1月に両病院で情報やノウハウの共有化を図るための担当者会を開催した。

(8) 土地、建物の貸付け及び使用許可状況

該当なし

(9) 借受不動産の状況

該当なし

(10) 職員住宅及び職員駐車場の管理状況

該当なし

(11) 除却資産

該当なし

(12) 寄附物件の受納状況

該当なし

(13) 不用品等の処分状況

該当なし

(14) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成28年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備考
		購 入 額	使 用 額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び郵便はがき	994	9,631	8,770	1,855	
収入印紙	500	0	0	500	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	1,494	9,631	8,770	2,355	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成28年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
50枚	0枚	8枚	42枚
		5,410円	

(15) 固定資産、現金、有価証券、物品の滅失等の状況

該当なし

(16) 自動車の管理状況

該当なし

(17) 貯蔵品の購入払出の状況

該当なし

6 予算決算対比表

(1) 収益的収入及び支出

ア 収入

(単位：円)

科 目	予 算 額				合 計	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	配当替額	地方公営企業法第24条 第3項の規定による支 出額に係る財源充当額				
(款) 病院事業収益	0	0	23,494,000	0	23,494,000	23,493,509	△491	
(項) 医業外収益	0	0	23,494,000	0	23,494,000	23,493,509	△491	
(目) その他医業外収益	0	0	23,494,000	0	23,494,000	23,493,509	△491	
(節) その他医業外収益	0	0	23,494,000	0	23,494,000	23,493,509	△491	

イ 支出

(単位：円)

科 目	予 算 額								決 算 額	地方公営企 業法第26条 第2項の規定による繰 越額	不 用 額	備 考	
	当初予算額	補正 予算額	予備費 支出額	流用 増減額	配当替額	地方公営 企業法第 24条第3 項の規定 による支 出額	小 計	地方公営 企業法第 26条第2 項の規定 による繰 越額					合 計
(款) 病院事業費用	103,988,000	0	0	0	27,637,000	0	131,625,000	0	131,625,000	126,934,040	0	4,690,960	
(項) 医業費用	80,290,000	0	0	0	4,143,000	0	84,433,000	0	84,433,000	79,742,531	0	4,690,469	
(目) 給与費	65,475,000	0	0	0	0	0	69,778,000	0	69,778,000	66,692,925	0	3,085,075	
(節) 給料	30,973,000	0	0	△600,000	0	0	30,373,000	0	30,373,000	30,016,500	0	356,500	
管理者給	5,902,000	0	0	17,900	0	0	5,919,900	0	5,919,900	5,919,900	0	0	
事務員給	25,071,000	0	0	△617,900	0	0	24,453,100	0	24,453,100	24,096,600	0	356,500	
(節) 手当	15,939,000	0	0	1,200,000	0	0	17,139,000	0	17,139,000	17,028,681	0	110,319	
管理者手当	3,602,000	0	0	103,649	0	0	3,705,649	0	3,705,649	3,705,649	0	0	
事務員手当	12,337,000	0	0	1,096,351	0	0	13,433,351	0	13,433,351	13,323,032	0	110,319	
(節) 報酬	161,000	0	0	0	0	0	116,000	0	116,000	116,000	0	0	
(節) 賃金	2,121,000	0	0	△600,000	0	0	1,521,000	0	1,521,000	1,419,627	0	101,373	
(節) 退職給付費	0	0	0	0	4,303,000	0	4,303,000	0	4,303,000	4,301,627	0	1,373	
(節) 法定福利費	11,372,000	0	0	0	0	0	11,372,000	0	11,372,000	10,386,612	0	985,388	
(節) 賞与引当金繰入額	4,165,000	0	0	0	0	0	4,165,000	0	4,165,000	2,878,992	0	1,286,008	
(節) 法定福利費引当金繰入額	744,000	0	0	0	0	0	744,000	0	744,000	544,886	0	199,114	
(目) 経費	14,815,000	0	0	0	△160,000	0	14,655,000	0	14,655,000	13,049,606	0	1,605,394	
(節) 厚生福利費	39,000	0	0	9,928	0	0	48,928	0	48,928	48,928	0	0	
(節) 交際費	400,000	0	0	0	△160,000	0	240,000	0	240,000	5,000	0	235,000	
(節) 報償費	25,000	0	0	0	0	0	25,000	0	25,000	14,580	0	10,420	

科 目	予 算 額							小 計	合 計	決 算 額	地方公営企 業法第26条 第2項の規定による繰 越額	不 用 額	備 考
	当初予算額	補正 予算額	予備費 支出額	流用 増減額	配当替額	地方公営 企業法第 24条の規 定による 支出額	地方公営 企業法第 26条の規 定による 繰越額						
(節)旅費交通費	1,219,000	0	0	△40,585	0	0	1,178,415	0	1,178,415	616,800	0	561,615	
(節)消耗品費	1,451,000	0	0	△191,380	0	0	1,259,620	0	1,259,620	1,147,243	0	112,377	
(節)光熱水費	489,000	0	0	0	0	0	489,000	0	489,000	393,579	0	95,421	
(節)燃料費	128,000	0	0	0	0	0	128,000	0	128,000	87,278	0	40,722	
(節)食糧費	109,000	0	0	0	0	0	109,000	0	109,000	51,607	0	57,393	
(節)印刷製本費	510,000	0	0	0	0	0	510,000	0	510,000	432,316	0	77,684	
(節)修繕費	10,000	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000	0	0	10,000	
(節)賃借料	1,585,000	0	0	16,401	0	0	1,601,401	0	1,601,401	1,601,401	0	0	
(節)委託料	7,243,000	0	0	205,636	0	0	7,448,636	0	7,448,636	7,448,636	0	0	
(節)通信運搬費	246,000	0	0	0	0	0	246,000	0	246,000	127,381	0	118,619	
(節)諸会費	284,000	0	0	0	0	0	284,000	0	284,000	284,000	0	0	
(節)雑費	1,077,000	0	0	0	0	0	1,077,000	0	1,077,000	790,857	0	286,143	
(項)医業外費用	0	0	0	0	23,494,000	0	23,494,000	0	23,494,000	23,493,509	0	491	
(目)雑損失	0	0	0	0	23,494,000	0	23,494,000	0	23,494,000	23,493,509	0	491	
(節)その他雑損失	0	0	0	0	23,494,000	0	23,494,000	0	23,494,000	23,493,509	0	491	
(項)特別損失	23,698,000	0	0	0	0	0	23,698,000	0	23,698,000	23,698,000	0	0	
(目)退職給付費	23,698,000	0	0	0	0	0	23,698,000	0	23,698,000	23,698,000	0	0	

(2) 資本的収入及び支出

該当なし

7 資金収支の状況

(1) 資金収支表

ア 病院局総務課
該当なし

イ 病院事業会計全体

(単位：円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
資本的支出 (A)	2,610,207,788	資本的収入 (B)	1,700,116,633
建設改良費	1,263,294,740	企 業 債	870,600,000
企業債償還金	1,346,913,048	負 担 金	785,360,195
他会計借入金償還金	0	補 助 金	36,294,048
		固定資産売却代金	7,727,070
		そ の 他	135,320
		資本的収支資金不足額 (C = A - B)	910,091,155
		(補てん財源)	
		当期純利益	942,859,392
		損益勘定留保資金	1,409,826,285
		・ 減価償却費	(1,300,025,014)
		・ 資産減耗費	(10,318,708)
		・ 固定資産除却費	(5,877,368)
		・ 長期前払消費税償却	(74,481,587)
		・ 特別損失	(19,123,608)
		消費税等資本的収支調整額	4,637,318
		非現金収益	△766,576,295
		計 (D)	1,590,746,700
収益的収支の資金剰余額 (E = D)	1,590,746,700		
当年度資金剰余額 (F = E - C)	680,655,545		
合 計 (A + F)	3,290,863,333	合 計 (B + D)	3,290,863,333

(2) 累積資金推移表

ア 病院局総務課
該当なし

イ 病院事業会計全体

(単位：円)

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
累積資金剰余額 (流動資産－流動負債)	5,701,087,980	7,049,911,036	6,973,292,780	1,885,559,963	5,592,733,738
当年度資金剰余(△) 不足額	1,236,687,181	1,348,823,056	△76,618,256	△5,087,732,817	3,707,173,775

8 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし